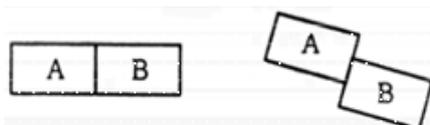


(別記)

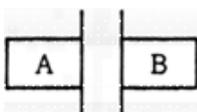
## 1 団地の考え方

団地とは、農業機械作業の段階における耕作の作業が中断されず、継続させることができる農用地の集まりであって、具体的に例示すれば以下のとおりである。なお、(1)、(2)及び(3)にあつては、(4)の場合を満たしているものとする。

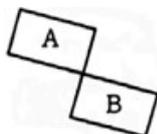
(1) 二つ以上の土地が畦畔で接続している場合



(2) 二つ以上の土地が小幅員の農道又は水路で接続している場合



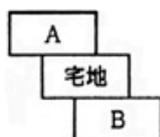
(3) 二つ以上の土地が各々一隅で接続し、作業の継続に大きな支障のない場合



(4) 段状をなしている二つ以上の土地の高低の差が作業の継続に大きな支障のない場合



(5) 二つ以上の土地が、耕作者の宅地に接続している場合



## 2 集団化率の算定の考え方

$$\text{集団化率} = \frac{P - Q}{P - N} \times 100$$

P : 従前の土地の団地数、Q : 換地の団地数、N : 地区内の耕作者数